

みかい

安住院便り
(第27号)

平成23年8月1日発行

〒703-8236
岡山市中区国富3丁目1-29
住職 生駒琢一

TEL(086)272-2320 FAX(086)273-9327

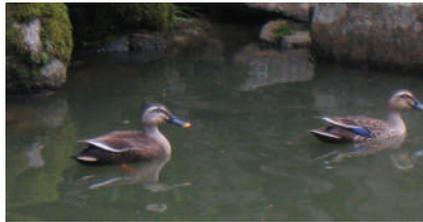
東日本大震災

平成二十三年三月十一日午後二時四十六分、宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0日本観測史上最大の地震が発生し、それに伴う大津波が襲い、東北太平洋沿岸を中心に壊滅的な被害をもたらしました。更に東京電力福島発電所の原子炉事故により、放射能拡散という異常事態になりました。人災天災を含め、災害修復の時期も未定な中、数多くの犠牲になられた方々の苦勞が続いております。

被災により亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると同時に、一日も早い復興を祈念するばかりです。

平成七年一月十七日の阪神淡路大震災の時より、更に重大な事態であることは、誰にでも理解出来ますが、一人一人何を成すべきか、判断が出来ないでいることも事実であります。

今回の震災で、大自然の前では人間の存在が如何に小さいものであるかを感じるとともに、家族を中心とした愛情や幸せについて、改めて考えられた方も多いと聞いています。



この春、安住院の中庭の池に、オシドリと思われるような水鳥のつがいが、毎日のように羽を休めに来ていました。池を泳いだり、岩の上に寄り添っていました。本当に微笑ましい光景です。これからも仲睦まじく、子育てもして欲しいとの願いで、眺めていました。

仏様の中でも観音様は、特に慈悲の功德を説いておられます。他の多くの人達に愛情を注ぎ慈しむ、優しさに満ちた心(慈)です。他人の悲しみを自分の悲しみとして受けとめることの出来る、思いやりの心(悲)であります。

言葉では簡単ですが、中々実行できない事です。家族だけでなく全ての方々に慈悲の心を向ける努力をしなければなりません。観音様のように出来ませんが、小さな事からすこしずつが重要であります。遠くにおいても、被災に遭われた方々のことを常日頃より思い、祈ってあげることの出来る心を持ち続けることが大切なのです。そのような気持ちでいれば、目の前の募金箱にも自然と眼が向き、何かしらの援助が出来るのではないのでしょうか。

観音様に感謝し、慈悲の心を忘れないように、これからも宜しくお願い致します。

多宝塔散華色紙



昨年の当院多宝塔の落慶に際しましては、ご協力誠に有り難うございました。重ねて御礼申し上げます。

修復完成以来、操山周辺より眺める多宝塔を、再認識して頂けたものと思えます。

落慶記念に、多宝塔の四季の様子などを描いた、散華五枚をセツトした色紙を作成致しました。

多少残部がありますので、一般に頒布しております。御入り用の方は、当院までご連絡下されば幸いです。

岡山市佛教会会長

岡山市内には、真言宗だけでなく仏教系の寺院が数多くあります。市政区域が広がりましたので、全てではありませんが、約百ヶ寺の参加している岡山市佛教会があります。花祭り・岡山空襲の平和法要・灯籠流しと、宗派を越えて協力し活動しています。

当年から二年間、担当宗派が真言宗となり、その会長職に、私儀安住院住職が当たることになりました。

馴れない役職ではありませんが、檀信徒の皆様のご協力も、宜しくお願い申し上げます。

灯籠流し

岡山市佛教会主催で、今年も例年通り、八月十六日六時半から、西川の緑道公園にて、灯籠流しを開催致します。ご先祖様の供養のため、是非お詣りして、灯籠流しにご参加下さい。

瀬戸内観音霊場参拝

今年の四月二十二日、瀬戸内観音霊場参拝の第四回目最新のお参りとなりました。今回は福山から因島・向島を中心に倉敷方面までの八ヶ寺を巡りました。

風はまだ少し冷たかったですが、久しぶりの快晴の中、気持ちよく、結願を迎えることが出来ました。本堂内等でゆつくりと読経を行い、観音様への感謝の気持ちを伝えました。

数年ぶりと成る寺院も多く、変わったところ、変わってないところ、色々な想いをもって参らせて頂きました。今後とも協力して、活動の輪を広げていきたい瀬戸内観音霊場会ですので、皆様も宜しくお願ひします。

次の予定は、十月十九日（水）二十日（木）高野山奥之院への御礼参りですので、是非ご参加下さい。

